

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズリオン ジョイ		
○保護者評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族、関係機関との情報共有を密に取り組み、日々のお子様の成長、嬉しかったことを伝えられている。	送迎時の申し送りだけでなく、連絡帳アプリを使い、写真のような視覚的なものでご様子をお伝えしたり、小さなご成長をお伝えしようとしている。	ご家族、関係機関での取り組みなどジョイでも取り入れられることなどご用意し、お子様の活動選択の幅を広げたり、お子様の自信に繋がられるような体制を作っていきたい。
2	マンツーマンでの支援提供が可能な体制になっている。	児童発達支援のご利用受け入れ状況がご利用者様一人の場面となっており、ご利用者様1人に対して支援員2名の対応となっているため、より密に関わりを持てるよう体制を整えている。	お子様、ご家族のニーズで小集団(2~3人)の関わりが求められた際に、どのような形で受け入れ体制を構築できるか検討していきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マンツーマン対応のみの受け入れ状況となっている。	多機能型の定員都合もあり、児童発達支援の受け入れは1日で基本1名となっている。お子様とスタッフのマンツーマンになっている。	ご家族からのニーズや、お子様同士の関わりが支援方法として必要になる場合の対応についてや受け入れについて検討していく。
2	粗大運動の提供について、大きなフロアスペース確保に工夫が必要となっている。	室数が多く、個別対応しやすい環境ではあるが、大きく走ったり動き回るスペース作りには机の配置など変更が必要。	活動に応じて臨機応変に机配置の変更など事前に検討し、配置変えを実施していく。
3			